令和６年度大阪エコ農産物の残留農薬分析結果について（５月実施分）

大阪府環境農林水産部農政室推進課

１　目的

大阪エコ農産物の安全･安心の確保に向け、農薬の使用状況と残留農薬を調査し、生産者に対して農薬の適正使用の指導を行う。

２　分析期間　令和６年５月27日～５月29日

３　分析農薬の種類　　50農薬

４　検査機関　地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

５　分析結果

４種類の作物について、計５検体調査を行いました。

食品衛生法に基づく残留基準値を超える検体はありませんでした。

表　分析結果

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 作物の種類 | エコ栽培基準  (農薬上限使用延成分回数） | 分析  検体数 | 農薬が  検出された検体数 | 検出された農薬の成分名 | 残留  濃度(ppm) | 残留  基準値(ppm) |
| トマト | ４  （栽培期間３ヶ月） | １ | ０ | － | － | － |
| にんにく | １ | １ | ０ | － |  |  |
| リーフレタス | １ | １ | ０ | － |  |  |
| 水なす  （施設） | 16  （栽培期間９ヶ月） | ２ | １ | エトフェンプロックス | 0.01 | ２ |

**農薬取締法、食品衛生法、エコ農産物の栽培基準のいずれにおいても問題ありません。**

水なす(施設)で検出された農薬成分はなすに登録があり、残留基準値を下回っており、農薬取締法、食品衛生法、エコ農産物の栽培基準のいずれにおいても問題ありません。